

款	項	目							
3	2	6	担当部局・課名		教育部・社会教育課				
事業名			子どもの居場所づくり推進事業（放課後児童健全育成事業）						
事業区分			継続事業		政策 3 子どもの未来応援				
事業 (経費) 内の主 な費目	節名称		細節名称		予算現額	決算額	繰越額	不用額	執行率%
	① 報 酬		会計年度任用職員報酬		137,493	116,424	0	21,069	85.0%
	② 職員手当等		一般職期末手当		20,725	19,722	0	1,003	95.0%
	③ 職員手当等		勤勉手当		17,439	16,510	0	929	95.0%
	④ 需 用 費		光熱水費		5,166	4,258	0	908	82.0%
⑤ 委 託 料		業務委託料（物件費）		10,132	10,070	0	62	99.0%	
補正 区分	6月補正	○	12月補正	⑥（①～⑤の計） ➡		166,984		決算に関する説明書	
	9月補正		3月補正	⑦その他の節の決算額 * 該当なし"0"を挿入 ➡		14,458		該当／頁	176
	臨時会 補正		⑧（⑥+⑦）事業決算合計額 ➡		181,442		該当／頁	181	
100万円以上の不用額が生じた理由（該当のみ）			当初計画よりも支援員の加配等の配置数が少なかったため。						
歳入に関する 項目	決算額 （⑧）		特定財源内訳				一般財源		
			国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他			
令和7年度	181,442		49,775	49,775	0	32,366	49,526		
特定財源 内訳	財源区分		補助金・負担金・交付金等の名称						
	国庫支出金		子ども・子育て支援交付金						
	県支出金		子ども・子育て支援交付金						
	負担金等その他		放課後児童クラブ負担金・ふるさと創生基金繰入金						
事業内容及び めざした目的 （具体的に）			保護者の就労などにより、昼間留守家庭となる小学校 1 年生から 6 年生までの児童を対象として、放課後や土曜日・長期休業中に家庭に代わる生活の場として遊びを中心とした活動を行う、児童の健全育成のための放課後児童クラブを運営する。						
事業実績 （詳細説明） 事業一覧表／状況写真／図面等			○報酬（会計年度任用職員報酬）116,424,284円 ・主任放課後支援員 2人 ・放課後児童支援員（週6日26人、週5日15人、日々雇用 59人） ○職員手当等（一般職期末手当）19,722,032円 ・主任放課後児童支援員、放課後児童支援員 期末手当 ○職員手当等（勤勉手当）16,509,530円 ・主任放課後児童支援員、放課後児童支援員 勤勉手当 ○需用費（光熱水費）4,258,389円 ・電気料金、上下水道使用料 ○委託料（業務委託料（物件費）） ・ちゅうおう児童クラブ運営委託料 10,069,922円 委託先 社会福祉法人中央福祉会、定員 55人 ○負担金、補助金及び交付金（補助金（補助費）） ・小規模型放課後児童クラブ事業補助金 930,000円 八幡放課後児童クラブ 利用児童4人 ※子ども・子育て支援交付金対象外のため補助金で運営 ○その他の節の決算額 13,528,272円 （主な経費） 旅費（費用弁償）4,113,621円 会計年度任用職員交通費 需用費（消耗品費）4,933,770円 各放課後児童クラブ消耗品費 役務費（その他保険料）768,970円 賠償、傷害保険料 備品購入費（その他備品購入費）1,503,610円 学習室机等の備品購入費 （その他経費） その他 2,208,301円 報償費、旅費、需用費、役務費、委託料、使用料及び賃借料、負担金						
別添資料等 無 （事業一覧等）									
成果/評価 * 事業を執行了 ことにより、どのよう な成果や効果をも たらしたのか			22教室の放課後児童クラブを運営し、待機児童を生じることなく、居場所を必要とする児童に家庭に代わる生活の場を提供することができました。						

款	項	目							
10	5	1	担当部局・課名		教育部・社会教育課				
事業名			子どもの居場所づくり推進事業（放課後子ども教室事業）						
事業区分			継続事業		政策 3 子どもの未来応援				
事業 (経費) 内の主 な費目	節名称		細節名称		予算現額	決算額	繰越額	不用額	執行率%
	① 報 酬		委員等謝礼		55	55	0	0	100.0%
	② 報 償 費		講師謝礼		62	37	0	25	60.0%
	③ 需 用 費		光熱水費		221	215	0	6	97.0%
	④ 委 託 料		業務委託料（物件費）		27,773	26,824	0	949	97.0%
	⑤								
補正 区分	6月補正		12月補正		⑥（①～⑤の計） →		27,131	決算に関する説明書	
	9月補正		3月補正		⑦その他の節の決算額 * 該当なし"0"を挿入 →		0	該当／頁	276
	臨時会 補正				⑧（⑥+⑦）事業決算合計額 →		27,131	該当／頁	277
100万円以上の不用額が生じた理由（該当のみ）									
歳入に関する 項目	決算額 （⑧）		特定財源内訳				一般財源		
			国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他			
令和7年度	27,131		0	7,423	0	0	19,708		
特定財源 内訳	財源区分		補助金・負担金・交付金等の名称						
	国庫支出金								
	県支出金		学校・家庭・地域連携協力推進事業県費補助金						
	負担金等その他								
事業内容及び めざした目的 （具体的に）			放課後児童クラブの実施が困難な9小学校区について、小学校1年生から6年生までの児童を対象として、放課後等の子どもの安全で健やかな活動場所の確保を図り、地域住民の参画を得て様々な体験・交流・学習活動を行うことで児童の社会性や自主性・創造性等を育成する場所として、放課後子ども教室の運営を自治組織などに委託して実施する。						
事業実績 （詳細説明） 事業一覧表／状況写真／図面等			○報償費（委員等謝礼） ・放課後子ども教室運営委員会委員謝礼 54,600円 [内訳] 7,800円×7人 ○報償費（講師謝礼） ・放課後子ども教室安全管理等研修会講師謝礼（2人分） 36,667円 [内訳] 30,556円×1人 6,111円×1人 ○需用費（光熱水費） ・布野放課後子ども教室 電気料金、上下水道使用料 215,325円 ○委託料（業務委託料（物件費）） ・放課後子ども教室運営業務委託料（9箇所） 26,824,008円						
別添資料等 無 （事業一覧等）									
成果/評価 * 事業を執行したことにより、どのような成果や効果をもたらしたのか			住民自治組織などへ運営を委託することで、地域住民が直接子どもたちに関わり地元根付いた活動となっています。子どもたちの可能性が広がる取組が行われることで、放課後等の子どもの安全で健やかな活動場所の確保が図られました。						

款	項	目						
10	1	3	担当部局・課名	教育部・学校教育課				
事業名			学校支援員等配置事業（市費教員・学校支援員等・障害児介助指導員）					
事業区分		継続事業		政策3 子どもの未来応援				
事業 (経費) 内の主 な費目	節名称		細節名称	予算現額	決算額	繰越額	不用額	執行率%
	① 報 酬		会計年度任用職員報酬	118,184	108,982	0	9,202	92.2%
	② 職員手当等		一般職期末手当	20,713	20,593	0	120	99.4%
	③ 職員手当等		勤勉手当	20,352	19,583	0	769	96.2%
	④ 旅 費		費用弁償	4,784	4,053	0	731	84.7%
	⑤ 役 務 費		手数料	85	0	0	85	0.0%
補正 区分	6月補正	12月補正	⑥ (①~⑤の計) →			153,211	決算に関する付属書	
	9月補正	3月補正	⑦その他の節の決算額 *該当なし"0"を挿入 →			0	該当/頁	264
	臨時会 補正		⑧ (⑥+⑦) 事業決算合計額 →			153,211	該当/頁	267
100万円以上の不用額が生じた理由 (該当のみ)			勤務日数が当初の見込みと異なったため。					
歳入に関する 項目	決算額 (⑨)	特定財源内訳				一般財源		
		国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他			
令和7年度	153,211	0	0	0	153,000	211		
特定財源 内訳	財源区分	補助金・負担金・交付金等の名称						
	国庫支出金							
	県支出金							
	負担金等その他	過疎地域持続的発展基金繰入金						
事業内容及び めざした目的 (具体的に)	個々の児童生徒の教育的ニーズに応じた指導や支援を行うことで、児童生徒に確かな力を身に付けさせるとともに、学習意欲の向上を図る。							
事業実績 (詳細説明) 事業一覧表/状況写真/図面等	○報酬（会計年度任用職員報酬） ・市費教員（理科支援員・外国語指導員）8,729,366円 ・学校支援員（教育支援員） 57,570,028円 ・障害児介助指導員 42,682,204円							
	○職員手当等（一般職期末手当） ・市費教員（理科支援員・外国語指導員）476,234円 ・学校支援員（教育支援員） 11,461,954円 ・障害児介助指導員 8,655,127円							
	○職員手当等（勤勉手当） ・市費教員（理科支援員・外国語指導員）400,036円 ・学校支援員（教育支援員） 10,921,473円 ・障害児介助指導員 8,261,299円							
	○旅費（費用弁償） ・市費教員（理科支援員・外国語指導員）590,896円 ・学校支援員（教育支援員） 1,659,615円 ・障害児介助指導員 1,802,547円							
別添資料等								
無								
(事業一覧等)								
成果/評価 *事業を執行したことにより、どのような成果や効果をもたらしたのか	理科支援員、外国語指導員のきめ細やかな指導や、学校支援員等、障害児介助指導員の個のニーズに合った支援により、学習意欲や学力の向上が見られた。三次市学力到達度検査における三次市の平均正答率は、全国正答率を2.6ポイント上回った。また、研修を実施したことにより、アセスメントの大切さや児童生徒のニーズに合った支援の在り方への理解を深めた。							

款	項	目							
10	1	3	担当部局・課名	教育部・学校教育課					
事業名			外国語指導助手派遣事業						
事業区分			継続事業						
			政策 3 子どもの未来応援						
事業 (経費) 内の主 な費目	節名称		細節名称		予算現額	決算額	繰越額	不用額	執行率%
	① 委託料		業務委託料 (物件費)		54,833	54,833	0	0	100.0%
	②								
	③								
	④								
	⑤								
補正 区分	6月補正	12月補正	⑥ (①~⑤の計) →				54,833	決算に関する付属書	
	9月補正	3月補正	⑦その他の節の決算額 * 該当なし "0" を挿入 →				0	該当/頁	264
	臨時会 補正		⑧ (⑥+⑦) 事業決算合計額 →				54,833	該当/頁	267
100万円以上の不用額が生じた理由 (該当のみ)									
歳入に関する 項目	決算額 (⑧)		特定財源内訳				一般財源		
			国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他			
令和7年度	54,833		0	0	0	0	54,833		
特定財源 内訳	財源区分		補助金・負担金・交付金等の名称						
	国庫支出金								
	県支出金								
	負担金等その他								
事業内容及び めざした目的 (具体的に)			外国語指導助手 (A L T) を小学校外国語活動・英語活動及び外国語科、中学校外国語科の指導に従事させることにより、児童生徒の外国語によるコミュニケーション能力の向上を図るとともに外国語教育の充実を図る。						
事業実績 (詳細説明) 事業一覧表/状況写真/図面等			○委託料 (業務委託料 (物件費)) ・市内全小中学校に11名の外国語指導助手 (ALT) を派遣 54,832,492円 						
別添資料等 無 (事業一覧等)									
成果/評価 * 事業を執行したことにより、どのような成果や効果をもたらしたのか			授業において、教師がA L Tとの対話モデルを見せたり、児童生徒が学んだ英語を実際に使ってA L Tとコミュニケーションをとるなど、英語による活動を通して、児童生徒の英語によるコミュニケーションへの意欲が高まっています。 ○A L Tから話しかけられた時、会話しようとする生徒」の項目【令和7年度三次市学力到達度検査より】 小学校5学年 91.6% (全国比+6.0pt) 小学校6学年 90.8% (全国比+3.3pt) 中学校1学年 90.1% (全国比+7.1pt) 中学校2学年 87.1% (全国比+5.9pt)						

款	項	目							
10	1	3	担当部局・課名		教育部・学校教育課				
事業名			三次版学校ICT活用事業						
事業区分		継続事業（拡充）		政策 3 子どもの未来応援					
事業 (経費) 内の主 な費目	節名称		細節名称		予算現額	決算額	繰越額	不用額	執行率%
	① 需用費		修繕料		1,181	546	0	635	46.2%
	② 役務費		通信運搬費		1,188	1,188	0	0	100.0%
	③ 委託料		施設機器等管理委託料		18,264	17,275	0	989	94.6%
	④ 使用料及び賃借料		その他使用料及び賃借料		15,112	10,330	0	4,782	68.4%
	⑤ 備品購入費		その他備品購入費		66,495	62,549	0	3,946	94.1%
補正 区分	6月補正	12月補正	⑥ (①~⑤の計) →			91,888	決算に関する付属書		
	9月補正	3月補正	⑦その他の節の決算額 * 該当なし "0" を挿入 →			0	該当/頁 264・265		
	臨時会 補正		⑧ (⑥+⑦) 事業決算合計額 →			91,888	該当/頁 266・267		
100万円以上の不用額が生じた理由 (該当のみ)		入札による執行残、児童生徒数の減少によるライセンス数の減などによる。							
歳入に関する 項目	決算額 (⑨)		特定財源内訳				一般財源		
			国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他			
令和7年度	91,888		41,361	0	0	24,400	26,127		
特定財源 内訳	財源区分		補助金・負担金・交付金等の名称						
	国庫支出金		広島県公立学校情報機器整備事業費補助金						
	県支出金								
	負担金等その他		地域振興基金繰入金						
事業内容及び めざした目的 (具体的に)	1人1台端末を中心としたデジタル機器を効果的に活用し、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を図ること で、児童生徒の学力の向上やこれからの社会で必要な情報活用能力等の育成を図る。								
事業実績 (詳細説明) 事業一覧表/状 況写真/図面等	○需用費（修繕料） ・小中学校LAN配線等修繕料 363,000円 ・小学校UPS修繕料 182,600円 ○役務費（通信運搬費） ・GIGA回線利用料 NTT：427,680円 プロバイダ：760,320円 ○委託料（施設機器等管理委託料） ・GIGA端末・ネットワーク運用保守業務 17,274,301円 ○使用料及び賃借料（その他使用料及び賃借料） ・GIGAフィルタリングソフト利用料 6,378,460円 ・授業支援ツールアプリ利用料 3,238,290円 ・GIGA端末用管理ソフトウェアライセンス利用料 712,800円 ○備品購入費（その他備品購入費） ・中学校の生徒用タブレット端末購入 62,548,651円								
別添資料等									
無 (事業一覧等)									
成果/評価 * 事業を執行了 ことにより、どのよ うな成果や効果をも たらしたのか	市立中学校の生徒用タブレット端末を全て更新し、経年劣化した機器の不具合や故障を防ぎ、「個別最適な学び」と「協働的な学び」を継続的に提供することができました。令和7年度「全国学力・学習状況調査」では、95%（小学校第6学年）、91.7%（中学校第3学年）の学校が、授業において一人一台端末を「週3回以上活用している」と回答し、各学校における一人一台端末の活用率に成果がみられました。また、令和7年度「広島県児童生徒意識調査」では、「PC・タブレットを活用して、情報を収集したり、目的に応じた情報や信頼できる情報を選択したりすることができる」と肯定的に回答した児童生徒の割合は、小学校第5学年は82.1%、中学校第2学年は88.8%、「学級の友達とお互いの考えを交換し共有して話し合いなどをする時に、PC・タブレットを活用することができる」と肯定的に回答した児童生徒の割合は、小学校第5学年は75.8%、中学校第2学年は84.4%であり、一人一台端末を中心としたデジタル学習基盤を整備し、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を図っています。								

款	項	目						
10	1	3	担当部局・課名		教育部・学校教育課			
事業名			いじめ防止・不登校対策推進事業					
事業区分		継続事業		政策3 子どもの未来応援				
事業 (経費) 内の主 な費目	節名称		細節名称	予算現額	決算額	繰越額	不用額	執行率%
	① 報 酬		会計年度任用職員報酬	12,775	12,760	0	15	99.9%
	② 職員手当等		一般職期末手当	2,658	2,552	0	106	96.0%
	③ 職員手当等		勤勉手当	2,233	2,148	0	85	96.2%
	④ 報 償 費		講師謝礼	3,187	2,820	0	367	88.5%
	⑤ 委 託 料		業務委託料 (物件費)	1,689	1,636	0	53	96.9%
補正 区分	6月補正	12月補正	⑥ (①~⑤の計) →		21,916		決算に関する付属書	
	9月補正	3月補正	⑦その他の節の決算額 *該当なし"0"を挿入 →		938		該当/頁	264
	臨時会 補正		⑧ (⑥+⑦) 事業決算合計額 →		22,854		該当/頁	267
100万円以上の不用額が生じた理由 (該当のみ)								
歳入に関する 項目	決算額 (⑧)		特定財源内訳				一般財源	
			国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他		
令和7年度	22,854		0	0	0	0	22,854	
特定財源 内訳	財源区分		補助金・負担金・交付金等の名称					
	国庫支出金							
	県支出金							
	負担金等その他							
事業内容及び めざした目的 (具体的に)	いじめ・不登校の未然防止と早期発見と初期対応や不登校児童生徒の社会的自立に向けた取組について、行政として学校・家庭・地域と連携しながら取り組み、いじめ対策の検討や相談窓口など、今後一層の充実を図る。教育相談員、青少年指導相談員、スクールカウンセラー等の人的な措置を行うことで、いじめ・不登校に限らず生徒指導上の諸課題等への総合的な対応を行う。							
事業実績 (詳細説明) 事業一覧表/状況写真/図面等	○報酬 (会計年度任用職員報酬) ・教育相談員報酬 (3名) 5,467,608円 ・青少年指導相談員報酬 (4名) 7,292,194円							
	○職員手当等 (一般職期末手当) ・教育相談員報酬 (3名) 1,150,473円 ・青少年指導相談員報酬 (4名) 1,401,071円							
	○職員手当等 (勤勉手当) ・教育相談員報酬 (3名) 968,217円 ・青少年指導相談員報酬 (4名) 1,179,326円							
	○報償費 (講師謝礼) ・三次市スクールカウンセラー相談業務謝礼 2,820,000円							
	○報償費 (その他報償費) ・いじめ防止対策に係る専門家等謝礼 218,400円 ・教育支援ルーム体験活動謝礼 47,873円							
別添資料等	○委託料 (業務委託料 (物件費)) ・総合質問紙調査業務 (小学校1回、中学校2回) 1,635,984円							
無 (事業一覧等)								
成果/評価 * 事業を執行了 ことにより、どの ような成果や効果 をもたらしたのか	個に応じた支援などを充実させたことにより、児童生徒が安全安心な学校生活を送ったり、社会的自立を図ったりできる居場所の確保につながった。							

款	項	目						
10	1	3	担当部局・課名	教育部・学校教育課				
事業名			校務支援システム活用事業					
事業区分			継続事業		政策 3 子どもの未来応援			
事業 (経費) 内の主 な費目	節名称		細節名称	予算現額	決算額	繰越額	不用額	執行率%
	① 使用料及び賃借料		事務機器等借上料	13,022	13,022	0	0	100.0%
	②							
	③							
	④							
	⑤							
補正 区分	6月補正	12月補正	⑥ (①~⑤の計) →			13,022	決算に関する付属書	
	9月補正	3月補正 ○	⑦ その他の節の決算額 * 該当なし"0"を挿入 →			0	該当/頁	264
	臨時会 補正		⑧ (⑥+⑦) 事業決算合計額 →			13,022	該当/頁	267
100万円以上の不用額が生じた理由 (該当のみ)								
歳入に関する 項目	決算額 (⑧)	特定財源内訳				一般財源		
		国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他			
令和7年度	13,022	0	0	0	0	13,022		
特定財源 内訳	財源区分	補助金・負担金・交付金等の名称						
	国庫支出金							
	県支出金							
	負担金等その他							
事業内容及び めざした目的 (具体的に)	校務支援システムを導入することで、児童生徒に関する情報を一元的に管理することにより、業務の効率化と適正化を図る。また、学校側の業務負担を軽減することで、教育の質の向上や学力向上に向けた取組に時間を費やすことのできる環境を構築する。							
事業実績 (詳細説明) 事業一覧表/状況写真/図面等	○使用料及び賃借料 (事務機器等借上料) ・校務支援システム 3 2校分 ・月額 1,085,150円 × 12か月 = 13,021,800円 【内訳】 校務支援システムサーバー、バックアップ装置、周辺装置、サーバーソフトウェア、プロジェクト管理費、システム基本設計、帳票・マニュアル作成、ライセンス料、コールセンター費用、研修会、システム年度更新、保守現地対応 等 (令和6年3月~令和11年2月末まで 60か月間の長期継続契約) 賃貸借契約							
	別添資料等							
	無 (事業一覧等)							
成果/評価 * 事業を執行したことにより、どのような成果や効果をもたらしたのか	ガイドンスや研修、マニュアルの配付等を行い、各校の自立した運用につなげた結果、教職員の業務の効率化と適正化を図ることができた。また、令和7年度全国学力・学習状況調査「ICTを活用した校務の効率化(事務の軽減)の優良事例を十分に取り入れていますか。」の質問に対して、肯定的回答は小学校 1 0 0 %、中学校 1 0 0 %であった。全校において、ICTを活用して校務の効率化に取り組み、業務負担を軽減することで、教育の質の向上や学力向上に向けた取組に時間を費やすことのできる環境の構築を図ることができた。							

款	項	目							
10	1	3	担当部局・課名		教育部・学校教育課				
事業名			読書活動推進事業						
事業区分		継続事業		政策 3 子どもの未来応援					
事業 (経費) 内の主 な費目	節名称		細節名称		予算現額	決算額	繰越額	不用額	執行率%
	① 需用費		消耗品費		9,712	9,651	0	61	99.4%
	② 委託料		業務委託料 (物件費)		3,788	3,788	0	0	100.0%
	③								
	④								
	⑤								
補正 区分	6月補正	12月補正	⑥ (①~⑤の計) →			13,439	決算に関する付属書		
	9月補正	3月補正	⑦その他の節の決算額 * 該当なし"0"を挿入 →			0	該当/頁	264	
	臨時会 補正		⑧ (⑥+⑦) 事業決算合計額 →			13,439	該当/頁	267	
100万円以上の不用額が生じた理由 (該当のみ)									
歳入に関する 項目	決算額 (⑧)		特定財源内訳				一般財源		
			国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他			
令和7年度	13,439		0	0	0	0	13,439		
特定財源 内訳	財源区分		補助金・負担金・交付金等の名称						
	国庫支出金								
	県支出金								
	負担金等その他								
事業内容及び めざした目的 (具体的に)	読書活動推進事業として、学校図書館の図書の更新を図ったり、読書活動の推進を図る読書活動推進員を全校に派遣したりすることで、児童生徒・教員による学校図書館の活用の促進を図るとともに、児童生徒の読書意欲を喚起し、読書量の増加につなげる。								
事業実績 (詳細説明) 事業一覧表/状況写真/図面等	文部科学省の定める「学校図書館図書標準」で定められている冊数の図書を整備し、市内32校において、充足率100%を達成できるよう学校図書館図書の充足・更新を実施した。令和7年度の図書充足率は、91.3%であった。社会の変化や学問の進展について新しい情報に触れるよう、また、すべての子どもが自主的に読書活動を行うことができるような環境の整備の観点から、図書の更新を定期的に行いながら、充足率が上がるよう努めている。 また、市内全小中学校32校へ読書活動推進員を配置し、新着図書の登録及び掲示・コーナーの設置による学校図書館の環境の充実や、本の紹介カード作成講座等を開催し児童生徒・教員への読書活動の推進に向けた取組を行った。								
別添資料等									
無 (事業一覧等)									
成果/評価 * 事業を執行了ことにより、どのような成果や効果をもたらしたのか	図書の購入により、各学校が古くなった図書を廃棄し、新しい本を配置することができました。 市内全小中学校32校への読書活動推進員の派遣を行うことで、学校図書館の運営の改善や、活用の促進が図られ、児童生徒の読書環境の充実に寄与しました。								

款	項	目							
10	1	3	担当部局・課名		教育部・学校教育課				
事業名			みよし結芽人育成事業（コアカリキュラム推進プロジェクト、教育政策研究事業、TRI-NEXT越境部）						
事業区分		継続事業		政策3 子どもの未来応援					
事業 (経費) 内の主 な費目	節名称		細節名称		予算現額	決算額	繰越額	不用額	執行率%
	① 報 償 費		講師謝礼		686	630	0	56	91.8%
	② 旅 費		費用弁償		328	137	0	191	41.8%
	③ 旅 費		普通旅費		554	376	0	178	67.9%
	④ 委 託 料		業務委託料（物件費）		2,412	2,401	0	11	99.5%
	⑤ 使用料及び賃借料		使用料及び賃借料 自動車借上料		610	471	0	139	77.2%
補正 区分	6月補正	12月補正	⑥（①～⑤の計） →			4,015	決算に関する付属書		
	9月補正	3月補正	○	⑦その他の節の決算額 *該当なし"0"を挿入 →			5	該当／頁	264
	臨時会 補正		⑧（⑥＋⑦）事業決算合計額 →			4,020	該当／頁	267	
100万円以上の不用額が生じた理由（該当のみ）									
歳入に関する 項目	決算額 （⑧）		特定財源内訳				一般財源		
			国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他			
令和7年度	4,020		0	0	0	0	4,020		
特定財源 内訳	財源区分		補助金・負担金・交付金等の名称						
	国庫支出金								
	県支出金								
	負担金等その他								
事業内容及び めざした目的 （具体的に）	みよし学びの共創プランの実現に向けて、三次独自のカリキュラムの新たな開発を行う「コアカリキュラム推進プロジェクト」、教育政策の立案・施策の検証等を進めていく「教育政策研究事業」、「未来を創る当事者」となる資質・能力を育成する「TRI-NEXT越境部」を実施する。								
事業実績 （詳細説明） 事業一覧表／状況写真／図面等	○報償費（講師謝礼） ・教育政策研究事業 629,552円 ○旅費（費用弁償） ・教育政策研究事業 44,322円 ・コアカリキュラム推進プロジェクト 92,880円 ○旅費（普通旅費） ・教育政策研究事業 320,026円 ・TRI-NEXT越境部 55,960円 ○委託料（業務委託料（物件費）） ・コアカリキュラム推進プロジェクト 870,320円 ・TRI-NEXT越境部 1,531,584円 ○使用料及び賃借料（自動車借上料） ・コアカリキュラム推進プロジェクト 359,329円 ・TRI-NEXT越境部 111,276円								
別添資料等									
無 （事業一覧等）									
成果/評価 * 事業を執行したことにより、どのような成果や効果をもたらしたのか	【コアカリキュラム推進プロジェクト】指定校で研究を進めるとともに、令和8年度の市内全面実施に向け、各校でのカリキュラムを作成することができた。 【教育政策研究チーム】外部のアドバイザー4名にそれぞれ主要施策の助言を依頼し、各種研修会で講師招聘をしたことで、「みよし学びの共創プラン」の具体を教職員と共有し、プラン実現に向けた環境を整えることができた。 【TRI-NEXT越境部】参加した生徒からアンケートから、「自ら解決する力」と「失敗を乗り越える力」の向上が見られました。また、考えたアイデアを実際にやってみるという行動変容につながった。								

款	項	目							
10	1	3	担当部局・課名		教育部・学校教育課				
事業名			部活動指導員活用事業						
事業区分		継続事業		政策 3 子どもの未来応援					
事業 (経費) 内の主 な費目	節名称		細節名称		予算現額	決算額	繰越額	不用額	執行率%
	①	報 酬	会計年度任用職員報酬		5,957	4,096	0	1,861	68.8%
	②	旅 費	費用弁償		749	411	0	338	54.9%
	③								
	④								
	⑤								
補正 区分	6月補正	12月補正	⑥ (①~⑤の計) →			4,507	決算に関する付属書		
	9月補正	3月補正	⑦その他の節の決算額 *該当なし"0"を挿入 →			0	該当/頁	264	
	臨時会 補正		⑧ (⑥+⑦) 事業決算合計額 →			4,507	該当/頁	265	
100万円以上の不用額が生じた理由 (該当のみ)		勤務日数が当初の見込みと異なったため。							
歳入に関する 項目	決算額 (⑨)		特定財源内訳				一般財源		
			国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他			
令和7年度	4,507		0	2,890	0	0	1,617		
特定財源 内訳	財源区分		補助金・負担金・交付金等の名称						
	国庫支出金								
	県支出金		部活動指導員配置促進事業補助金						
	負担金等その他								
事業内容及び めざした目的 (具体的に)	学校部活動において、教員に代わり部活動の指導を行う部活動指導員を配置することで、生徒の部活動における技術力の確実な向上と、学校教育活動の一層の充実・教員の「働き方改革」の実現を図る。								
事業実績 (詳細説明) 事業一覧表/状況写真/図面等	令和7年度は、部活動指導員11名を市内12中学校中7校に配置した。 ・三次中学校：吹奏楽部 ・十日市中学校：卓球部、バスケットボール部、茶道部 ・塩町中学校：卓球部 ・八次中学校：吹奏楽部 ・君田中学校：卓球部 ・吉舎中学校：野球部、吹奏楽部 ・三良坂中学校：音楽部、ソフトテニス部 ○報酬（会計年度任用職員報酬） ・部活動指導員11名 4,096,048円 ○旅費（費用弁償） ・通勤手当相当 307,720円 ・生徒引率費 103,305円								
	別添資料等 無 (事業一覧等)								
成果/評価 * 事業を執行したことにより、どのような成果や効果をもたらしたのか	本事業により、部活動指導員が単独で部活動指導を行うことにより、教職員が部活動に関わる時間を軽減することができた。部活動指導員が配置されているどの学校においても、「顧問の負担が軽減されている」、「部活動が充実し、生徒が意欲的に部活動に参加している」という回答が得られている。本事業は、部活動の地域展開の推進と重なり、教員の働き方改革、生徒への専門的な指導を行うための重要な取組である。								

款	項	目						
10	1	3	担当部局・課名	教育部・学校教育課				
事業名			読解力向上事業					
事業区分			継続事業					
			政策 3 子どもの未来応援					
事業 (経費) 内の主 な費目	節名称		細節名称	予算現額	決算額	繰越額	不用額	執行率%
	① 役 務 費		手数料	2,279	1,934	0	345	84.9%
	② 委 託 料		業務委託料 (物件費)	930	573	0	357	61.6%
	③							
	④							
	⑤							
補正 区分	6月補正	12月補正	⑥ (①~⑤の計) →			2,507	決算に関する付属書	
	9月補正	3月補正	⑦その他の節の決算額 * 該当なし"0"を挿入 →			0	該当/頁	264
	臨時会 補正		⑧ (⑥+⑦) 事業決算合計額 →			2,507	該当/頁	267
100万円以上の不用額が生じた理由 (該当のみ)								
歳入に関する 項目	決算額 (⑧)	特定財源内訳				一般財源		
		国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他			
令和7年度	2,507	0	0	0	0	2,507		
特定財源 内訳	財源区分	補助金・負担金・交付金等の名称						
	国庫支出金							
	県支出金							
	負担金等その他							
事業内容及び めざした目的 (具体的に)	本市児童生徒の課題である読解力の向上をめざした「教科書を適切に読み取る力」と「中学校卒業段階における英語検定 3 級程度の英語力」の育成を図る。母語である日本語と外国語の習得については、相関関係があるとされており、母語、外国語の両面においての取組を進めることで、読解力を相乗的に高めたい。							
事業実績 (詳細説明) 事業一覧表/状況写真/図面等	指定校 7 校の小学校第 5 学年～中学校第 3 学年において、リーディングスキルテストを実施した。その結果を分析し、読解力に係るつまづきの把握や、結果を生かした授業改善を行った。さらに、各校の取組を市内の全小中学校へ普及した。また、英語検定については、市内全中学校の中学校第 1 学年・第 2 学年が年間 1 回、受検をする機会を設定し、級を新たに取得した生徒もいた。中学校卒業段階における英語検定 3 級程度の英語力を育成することを一つの目標とし、各学年で身に付けさせる資質・能力の育成を目指して、事業を活用している。 ○役務費 (手数料) ・英語検定料補助金 1,934,200円 内容：年間 1 回、検定料全額を補助 対象：中学校第 1 学年・第 2 学年 ○委託料 (業務委託料 (物件費)) ・リーディングスキルテスト委託料 572,495円 内容：リーディングスキルテストの実施 指定校：小学校 5 校、中学校 2 校 対象学年：小学校第 5 学年～中学校第 3 学年							
別添資料等								
無								
(事業一覧等)								
成果/評価 * 事業を執行したことにより、どのような成果や効果をもたらしたのか	「教科書を適切に読み取る力」の育成については、7校の研究校で「リーディングスキルテスト (基礎的な読む力を測るテスト)」を用いた授業改善を進め、実践を市内に普及した。 「中学校卒業段階における英語検定3級程度の英語力の育成」については、受検機会の拡大により、英語力及び学習意欲向上に結びつけている。							

款	項	目							
10	1	3	担当部局・課名		教育部・学校教育課				
事業名			コミュニティ・スクール充実事業						
事業区分		継続事業		政策 3 子どもの未来応援					
事業 (経費) 内の主 な費目	節名称		細節名称		予算現額	決算額	繰越額	不用額	執行率%
	① 報 償 費		講師謝礼		787	724	0	63	92.0%
	② 需 用 費		消耗品費		1,041	1,032	0	9	99.1%
	③ 需 用 費		印刷製本費		394	301	0	93	76.4%
	④ 役 務 費		通信運搬費		10	10	0	0	100.0%
	⑤ 使用料及び賃借料		自動車借上料		216	192	0	24	88.9%
補正 区分	6月補正	12月補正	⑥ (①~⑤の計) ➡		2,259		決算に関する付属書		
	9月補正	3月補正	⑦その他の節の決算額 * 該当なし"0"を挿入 ➡		2		該当/頁	264	
	臨時会 補正		⑧ (⑥+⑦) 事業決算合計額 ➡		2,261		該当/頁	267	
100万円以上の不用額が生じた理由 (該当のみ)									
歳入に関する 項目	決算額 (⑧)		特定財源内訳				一般財源		
			国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他			
令和7年度	2,261		0	0	0	0	2,261		
特定財源 内訳	財源区分		補助金・負担金・交付金等の名称						
	国庫支出金								
	県支出金								
	負担金等その他								
事業内容及び めざした目的 (具体的に)	義務教育 9 年間を一体のものとしてとらえ、同じ学校区の小中学校・地域が、めざす子ども像や教育目標を共有し、全ての 子どもの可能性を最大限に伸ばす学校づくり及びコミュニティ・スクールの取組を生かす小中一貫教育を推進するための事業 に要する経費に対し、予算の範囲内で事業費を配当する。								
事業実績 (詳細説明) 事業一覧表/状 況写真/図面等	○報償費 (講師謝礼) ・指導方法や学びをつなぐ、小・中合同での研修会への講師謝礼、地域学習の講師謝礼 等 724,399円								
	○需用費 (消耗品費) ・教材・教具用紙、コミュニティ・スクールののぼり、コミュニティ・スクールの広報 等 1,031,726円								
別添資料等 無 (事業一覧等)	○需用費 (印刷製本費) ・みよし結芽人育成カレンダー、パンフレット印刷製本代等 301,400円								
	○役務費 (通信運搬費) ・コミュニティ・スクールに係る広報誌送付 10,000円								
成果/評価 * 事業を執行した ことにより、どのよ うな成果や効果をも たらしたのか	○使用料及び賃借料 (自動車借上料) ・児童生徒交流や校外学習のバス、タクシー借上料 191,990円								
	令和 7 年度は、全ての中学校区でコミュニティ・スクールが導入となった。 「地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか」という質問への児童生徒の肯定的回答割合は小学校6年生で 84.8%、中学校3年生で76.9%となっており、「みよし学びの共創プラン」策定時の令和 5 年度 (小 6 : 84.3%、中 3 : 65.7%) と比較して、特に、中学校は増加している。								

款	項	目							
10	1	3	担当部局・課名		教育部・学校教育課				
事業名			中学校部活動地域移行推進事業						
事業区分		継続事業 (拡充)		政策 3 子どもの未来応援					
事業 (経費) 内の主 な費目	節名称		細節名称		予算現額	決算額	繰越額	不用額	執行率%
	① 報 酬		会計年度任用職員報酬		1,809	1,791	0	18	99.0%
	② 職員手当等		一般職期末手当		377	375	0	2	99.5%
	③ 職員手当等		勤勉手当		318	316	0	2	99.4%
	④ 報 償 費		講師謝礼		176	176	0	0	100.0%
	⑤ 委 託 料		業務委託料 (物件費)		286	190	0	96	66.4%
補正 区分	6月補正	○	12月補正	⑥ (①~⑤の計) →			2,848	決算に関する付属書	
	9月補正		3月補正	⑦その他の節の決算額 * 該当なし"0"を挿入 →			340	該当/頁	264
	臨時会 補正			⑧ (⑥+⑦) 事業決算合計額 →			3,188	該当/頁	267
100万円以上の不用額が生じた理由 (該当のみ)									
歳入に関する 項目	決算額 (⑧)		特定財源内訳				一般財源		
			国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他			
令和7年度	3,188		0	2,153	0	500	535		
特定財源 内訳	財源区分		補助金・負担金・交付金等の名称						
	国庫支出金								
	県支出金		地域スポーツクラブ活動体制整備事業委託金						
	負担金等その他		スポーツ安全協会助成金						
事業内容及び めざした目的 (具体的に)			令和9年4月からの休日の部活動の実施展開に向けて環境づくりを創出していくため、部活動地域展開総括コーディネーターを配置し、関係者との連絡調整・指導助言の体制や運営団体・実施主体の整備などを行う。						
事業実績 (詳細説明) 事業一覧表/状況写真/図面等			○報酬 (会計年度任用職員報酬) ・総括コーディネーター報酬 1,790,886円 ○職員手当等 (一般職期末手当) ・総括コーディネーター期末手当 375,275円 ○職員手当等 (勤勉手当) ・総括コーディネーター勤勉手当 315,825円 ○報償費 (講師謝礼) ・地域クラブ体験会講師謝礼 176,000円 ○委託料 (業務委託料 (物件費)) ・パンフレット作製業務委託料 107,800円 ・地域クラブ体験会 (吹奏楽) 運営業務委託料 82,500円						
別添資料等 無 (事業一覧等)									
成果/評価 * 事業を執行了ことにより、どのような成果や効果をもたらしたのか			令和9年度の中学校における部活動の休日地域展開に向けて、三次市地域部活動検討委員会で協議を重ねた結果、令和6年12月に示された提言に基づき、「三次市部活動の地域展開に係る基本方針」を策定し、今後の取組の環境を整えることができた。						

款	項	目						
10	1	3	担当部局・課名	教育部・社会教育課				
事業名			高校生地域活動支援事業					
事業区分			継続事業					
			政策3 子どもの未来応援					
事業 (経費) 内の主 な費目	節名称		細節名称	予算現額	決算額	繰越額	不用額	執行率%
	① 負担金、補助及び交付金		補助金（補助費）	900	248	0	652	28.0%
	②							
	③							
	④							
	⑤							
補正 区分	6月補正	12月補正	⑥（①～⑤の計） →			248	決算に関する説明書	
	9月補正	3月補正	⑦その他の節の決算額 * 該当なし"0"を挿入 →			0	該当/頁	266
	臨時会 補正		⑧（⑥+⑦）事業決算合計額 →			248	該当/頁	267
100万円以上の不用額が生じた理由（該当のみ）								
歳入に関する 項目	決算額 （⑧）		特定財源内訳				一般財源	
			国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他		
令和7年度	248		0	0	0	0	248	
特定財源 内訳	財源区分		補助金・負担金・交付金等の名称					
	国庫支出金							
	県支出金							
	負担金等その他							
事業内容及び めざした目的 （具体的に）			高校生が取り組む地域振興又は地域貢献に関する活動など、高等学校が行う郷土に愛着と誇りを持つ人材の育成に資する事業を支援することで、地域に開かれた高等学校を推進する。					
事業実績 （詳細説明） 事業一覧表／状況写真／図面等			○負担金、補助及び交付金（補助金（補助費）） 高校生地域活動支援事業補助金 247,122円 （事業実績） 三次青陵高等学校 20,067円 ・小学生へのプログラミング教室 ⇒プログラミングやものづくりの知識・技能といった三次青陵高等学校の特色を活かす取組であり、参加した小学生の新たな可能性、分野への関心を高めることにつながった。 日影館高等学校 227,055円 ・「ようこそ先輩」講演事業 ⇒卒業生による講演会を実施（計8回） これまでの経験や地域に対する思い等を講演していただき、生徒自身及び地域の将来を考える 機会の創出につながった。 ・プラスバンド クリスマスコンサート ⇒三次市内7校、市外2校の中学校吹奏楽部等が参画し、約280人の来場があった。					
別添資料等								
無								
（事業一覧等）								
成果/評価 * 事業を執行了 ことにより、どのよ うな成果や効果をも たらしたのか			高校生が取り組む市内小中学校や企業等と連携した事業に支援することで、郷土に愛着を持つ人材の育成と地域振興に寄与しました。生徒への周知用のチラシを作成し、高等学校に配布する際に事業の趣旨説明とヒアリングも行いました。					

款	項	目	担当部局・課名		教育部・教育企画課				
10	1	3							
事業名			三次小学校改築事業						
事業区分			継続事業		政策 3 子どもの未来応援				
事業 (経費) 内の主 な費目	節名称		細節名称		予算現額	決算額	繰越額	不用額	執行率%
	① 需用費		消耗品費		1,035	844	0	191	82.0%
	② 委託料		業務委託料 (物件費)		3,032	3,019	0	13	100.0%
	③ 委託料		調査測量設計監理等委託料		35,824	35,791	0	33	100.0%
	④ 工事請負費		工事請負費		1,088,767	1,087,368	0	1,399	100.0%
	⑤ 備品購入費		その他備品購入費		40,912	40,741	0	171	100.0%
補正 区分	6月補正	12月補正	⑥ (①~⑤)の計		➡		1,167,763	決算に関する説明書	
	9月補正	3月補正	○	⑦その他の節の決算額 * 該当なし"0"を挿入		➡		838	該当/頁 266・267
	臨時会 補正		⑧ (⑥+⑦) 事業決算合計額		➡		1,168,601	該当/頁 268・269	
100万円以上の不用額が生じた理由 (該当のみ)			事業実施にあたり工事請負費が見込みを下回ったため。						
歳入に関する 項目	決算額 (⑧)		特定財源内訳				一般財源		
			国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他			
令和7年度	1,168,601		17,152	17,152	1,104,700	0	29,597		
特定財源 内訳	財源区分		補助金・負担金・交付金等の名称						
	国庫支出金		子ども・子育て支援施設整備交付金						
	県支出金		子ども・子育て支援施設整備交付金						
	負担金等その他								
事業内容及び めざした目的 (具体的に)			令和2年度に文部科学省の示す基準に基づき市内全小中学校の劣化状況調査を行った結果、三次小学校校舎の健全度が最も低い数値であることが判明したことから、児童の良好な学習環境や生活環境を確保するため、校舎建替えを実施する。						
事業実績 (詳細説明) 事業一覧表/状況写真/図面等	○需用費 (消耗品費) ・マット、目隠しシート等 844,195円 ○役務費 (手数料) ・工事完了検査申請手数料 838,325円 ○委託料 (業務委託料 (物件費)) ・物品等運搬 1,243,000円 ・廃棄物運搬 657,800円 ・その他関連 1,118,370円 ○委託料 (調査測量設計監理等委託料) ・改築工事監理 34,980,000円 ・プール改修工事監理 428,219円 ・その他関連 382,800円 ○工事請負費 (工事請負費) ・校舎改築 1,025,006,455円 ・グラウンド整備 17,378,900円 ・プール改修 40,407,400円 ・その他関連 4,574,900円 ○備品購入費 (その他備品購入費) ・事務用家具 30,725,200円 ・児童用学習机、椅子 6,556,000円 ・カーテン及びブラインド 2,068,000円 ・音響機器 1,391,500円								
	別添資料等 無 (事業一覧等)								
成果/評価 * 事業を執行したことにより、どのような成果や効果をもたらしたのか	建築主体工事、機械設備工事、電気設備工事などを進め、計画どおり令和7年9月から新校舎の供用を開始しました。また、関連工事であるプール改修及びグラウンド整備なども全体スケジュールに沿って取組を進めることができました。								

款	項	目	担当部局・課名		教育部・学校教育課				
10	1	3							
事業名			小中学校設備改修事業						
事業区分			新規事業		政策3 子どもの未来応援				
事業 (経費) 内の主 な費目	節名称		細節名称		予算現額	決算額	繰越額	不用額	執行率%
	① 委託料		調査測量設計監理等委託料		2,592	1,881	0	711	72.6%
	② 工事請負費		工事請負費		164,536	145,808	0	18,728	88.6%
	③								
	④								
	⑤								
補正 区分	6月補正	12月補正	⑥ (①~⑤の計) →			147,689	決算に関する付属書		
	9月補正	3月補正 ○	⑦ その他の節の決算額 * 該当なし "0" を挿入 →			0	該当/頁	264	
	臨時会 補正		⑧ (⑥ + ⑦) 事業決算合計額 →			147,689	該当/頁	265	
100万円以上の不用額が生じた理由 (該当のみ)			入札の結果、予定した金額を下回る金額で契約したことによる。						
歳入に関する 項目	決算額 (⑧)		特定財源内訳				一般財源		
			国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他			
令和7年度	147,689		64,850	0	72,200	0	10,639		
特定財源 内訳	財源区分		補助金・負担金・交付金等の名称						
	国庫支出金		学校施設環境改善交付金						
	県支出金								
	負担金等その他								
事業内容及び めざした目的 (具体的に)			学校施設の環境改善を図り、児童の良好な学習環境・生活環境を確保するため、作木小学校屋内運動場天井等落下防止工事及び八次小学校エレベーター設置工事を行う。						
事業実績 (詳細説明) 事業一覧表/状況写真/図面等			○委託料 (調査測量設計監理等委託料) ・作木小学校 屋内運動場天井改修工事監理業務 891,000円 ・八次小学校 エレベーター設置工事監理業務 990,000円 ○工事請負費 (工事請負費) ・作木小学校 屋内運動場天井改修工事 49,514,300円 ・八次小学校 エレベーター設置工事 96,292,900 円						
別添資料等 無 (事業一覧等)			 作木小学校屋内運動場天井改修  八次小学校エレベーター設置						
成果/評価 * 事業を執行したことにより、どのような成果や効果をもたらしたのか			屋内運動場天井等落下防止工事、エレベーター設置工事を通し、児童が、安全・安心な環境で学習できる環境を整えることができました。						

款	項	目	担当部局・課名		教育部・教育企画課				
10	1	3							
事業名			十日市小学校等改築事業						
事業区分			継続事業		政策 3 子どもの未来応援				
事業 (経費) 内の主 な費目	節名称		細節名称		予算現額	決算額	繰越額	不用額	執行率%
	① 報 償 費		委員等謝礼		228	227	0	1	100.0%
	② 報 償 費		その他報償費		400	400	0	0	100.0%
	③ 役 務 費		手数料		335	335	0	0	100.0%
	④ 委 託 料		業務委託料 (物件費)		894	893	0	1	100.0%
	⑤ 委 託 料		調査測量設計監理等委託料		13,782	13,782	0	0	100.0%
補正 区分	6月補正	12月補正	⑥ (①~⑤)の計			15,637	決算に関する説明書		
	9月補正	3月補正	○	⑦その他の節の決算額 * 該当なし "0" を挿入			8	該当/頁	266・267
	臨時会 補正		⑧ (⑥+⑦) 事業決算合計額			15,645	該当/頁	268・269	
100万円以上の不用額が生じた理由 (該当のみ)									
歳入に関する 項目	決算額 (⑧)		特定財源内訳				一般財源		
			国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他			
令和7年度	15,645		0	0	14,100	0	1,545		
特定財源 内訳	財源区分		補助金・負担金・交付金等の名称						
	国庫支出金								
	県支出金								
	負担金等その他								
事業内容及び めざした目的 (具体的に)	令和2年度に文部科学省の示す基準に基づき市内全小中学校の劣化状況調査を行った結果、十日市小学校校舎の健全度が2番目に低い数値であることが判明したことから、児童生徒の良好な学習環境や生活環境を確保するため、隣接する十日市中学校と合わせ「施設一体型小中一貫校」として整備する。								
事業実績 (詳細説明) 事業一覧表/状況写真/図面等	○報償費 (委員等謝礼) ・基本・実施設計業務プロポーザル審査委員会委員謝礼 226,800円 ○報償費 (その他報償費) ・基本・実施設計業務プロポーザル参加報償費 (4者) 400,000円 ○役務費 (手数料) ・小中学校連絡通路用地取得に係る手数料 335,000円 ○委託料 (業務委託料 (物件費)) ・旧十日市小学校給食調理場解体に伴う一般廃棄物運搬 473,000円 ・連絡通路用地取得に係る不動産鑑定評価 420,420円 ○委託料 (調査測量設計監理等委託料) ・十日市小学校屋内運動場・十日市体育館改修工事設計 6,626,400円 ・十日市小学校屋内運動場・十日市体育館空調設置工事設計 4,401,100円 ・連絡通路用地取得に係る分筆測量 1,804,000円 ・旧十日市学校給食調理場解体工事設計 950,400円								
	 校舎のイメージ 図書メディアのイメージ ルキン® ルーニングエリアのイメージ								
別添資料等	無								
(事業一覧等)									
成果/評価 * 事業を執行了ことにより、どのような成果や効果をもたらしたのか	児童生徒の良好な学習環境や生活環境を確保するため、老朽化した十日市小学校などの改築に向けた基本設計・実施設計を進めるとともに、関連事業である、旧十日市小学校給食調理場解体工事設計、十日市小学校屋内運動場と十日市体育館の改修工事設計など、全体スケジュールに沿って取組を進めることができました。								

款	項	目	担当部局・課名		教育部・教育企画課																																													
10	1	3																																																
事業名			小中学校トイレ洋式化事業																																															
事業区分			継続事業		政策3 子どもの未来応援																																													
事業 (経費) 内の主 な費目	節名称		細節名称		予算現額	決算額	繰越額	不用額	執行率%																																									
	① 委託料		調査測量設計監理等委託料		5,466	4,170	1,100	196	76.0%																																									
	② 工事請負費		工事請負費		35,749	8,739	25,000	2,010	24.0%																																									
	③																																																	
	④																																																	
	⑤																																																	
補正 区分	6月補正	12月補正	⑥ (①~⑤の計) →				12,909	決算に関する説明書																																										
	9月補正	3月補正	⑦その他の節の決算額 * 該当なし"0"を挿入 →				0	該当/頁 266・267																																										
	臨時会 補正		⑧ (⑥+⑦) 事業決算合計額 →				12,909	該当/頁 268・269																																										
100万円以上の不用額が生じた理由 (該当のみ)			入札の結果、予定した金額を下回る金額で契約したことによる。																																															
歳入に関する 項目	決算額 (⑧)		特定財源内訳				一般財源																																											
			国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他																																												
令和7年度	12,909		0	0	12,900	0	9																																											
特定財源 内訳	財源区分		補助金・負担金・交付金等の名称																																															
	国庫支出金																																																	
	県支出金																																																	
	負担金等その他																																																	
事業内容及び めざした目的 (具体的に)			教育環境の充実及び災害時の避難所の生活環境の充実を図るため、指定避難所に指定されている学校施設などのトイレの洋式化を行う。																																															
事業実績 (詳細説明) 事業一覧表/状況写真/図面等	○委託料 (調査測量設計監理等委託料) ・田幸小学校屋内運動場トイレ洋式化改修工事設計 440,000円 ・神杉小学校屋内運動場トイレ洋式化改修工事設計 429,000円 ・塩町中学校校舎トイレ洋式化改修工事設計 583,000円 ・三次中学校校舎トイレ洋式化改修工事設計 1,958,000円 ・八次中学校校舎トイレ洋式化改修工事設計 760,100円 ○工事請負費 (工事請負費) ・田幸小学校屋内運動場トイレ洋式化改修 2,713,700円 ・神杉小学校屋内運動場トイレ洋式化改修 1,834,800円 ・塩町中学校校舎トイレ洋式化改修 4,189,900円																																																	
	<table><thead><tr><th>学校名</th><th>場所</th><th>男性用</th><th>女性用</th><th>計</th><th>備考</th></tr></thead><tbody><tr><td>田幸小学校</td><td>屋内運動場</td><td>1基</td><td>2基</td><td>3基</td><td></td></tr><tr><td>神杉小学校</td><td>屋内運動場</td><td>1基</td><td>1基</td><td>2基</td><td></td></tr><tr><td>塩町中学校</td><td>校舎</td><td>2基</td><td>4基</td><td>6基</td><td></td></tr><tr><td>三次中学校</td><td>校舎</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>設計のみ</td></tr><tr><td>八次中学校</td><td>校舎(2階)</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>設計のみ</td></tr><tr><td colspan="2">計</td><td>4基</td><td>7基</td><td>11基</td><td></td></tr></tbody></table>									学校名	場所	男性用	女性用	計	備考	田幸小学校	屋内運動場	1基	2基	3基		神杉小学校	屋内運動場	1基	1基	2基		塩町中学校	校舎	2基	4基	6基		三次中学校	校舎	—	—	—	設計のみ	八次中学校	校舎(2階)	—	—	—	設計のみ	計		4基	7基	11基
学校名	場所	男性用	女性用	計	備考																																													
田幸小学校	屋内運動場	1基	2基	3基																																														
神杉小学校	屋内運動場	1基	1基	2基																																														
塩町中学校	校舎	2基	4基	6基																																														
三次中学校	校舎	—	—	—	設計のみ																																													
八次中学校	校舎(2階)	—	—	—	設計のみ																																													
計		4基	7基	11基																																														
別添資料等	無																																																	
(事業一覧等)																																																		
成果/評価 * 事業を執行したことにより、どのような成果や効果をもたらしたのか	教育環境の充実及び災害時の避難所の生活環境の充実を図ることができました。																																																	

款	項	目						
10	1	3	担当部局・課名	教育部・学校教育課				
事業名			小中学校屋内運動場用スポットクーラー購入事業					
事業区分			新規事業					
			政策3 子どもの未来応援					
事業 (経費) 内の主 な費目	節名称		細節名称	予算現額	決算額	繰越額	不用額	執行率%
	① 備品購入費		その他備品購入費	9,860	9,860	0	0	100.0%
	②							
	③							
	④							
	⑤							
補正 区分	6月補正	12月補正	⑥ (①~⑤)の計 →		9,860	決算に関する付属書		
	9月補正	3月補正	⑦その他の節の決算額 * 該当なし"0"を挿入 →		0	該当/頁 264		
	臨時会 補正		⑧ (⑥+⑦) 事業決算合計額 →		9,860	該当/頁 265		
100万円以上の不用額が生じた理由 (該当のみ)								
歳入に関する 項目	決算額 (⑧)		特定財源内訳				一般財源	
			国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他		
令和7年度	9,860		0	0	0	3,300	6,560	
特定財源 内訳	財源区分		補助金・負担金・交付金等の名称					
	国庫支出金							
	県支出金							
	負担金等その他		ふるさと創生基金繰入金					
事業内容及び めざした目的 (具体的に)	小中学校屋内運動場内での熱中症対策など児童・生徒が学びやすい教育環境の充実を図ることを目的として、スポットクーラーを購入する。							
事業実績 (詳細説明) 事業一覧表/状 況写真/図面等	○備品購入費 (その他備品購入費) ・エリア1 (17校34台) 5,273,400円 ・エリア2 (15校30台) 4,586,340円 							
別添資料等 無 (事業一覧等)	スポットクーラー							
成果/評価 * 事業を執行した ことにより、どのよ うな成果や効果をも たらしたのか	全校にスポットクーラーを導入し、児童生徒の熱中症予防対策を強化するとともに、快適な学習環境の確保を図った。							

款	項	目						
10	2・3	1	担当部局・課名	教育部・教育企画課、学校教育課				
事業名			市立小中学校再配置					
事業区分			その他事業（管理部門経費等） 政策3 子どもの未来応援					
事業 (経費) 内の主 な費目	節名称		細節名称	予算現額	決算額	繰越額	不用額	執行率%
	① 需用費		消耗品費	490	320	0	170	65.0%
	② 委託料		業務委託料（物件費）	1,405	679	0	726	48.0%
	③ 使用料及び賃借料		自動車借上料	217	217	0	0	100.0%
	④ 備品購入費		その他備品購入費	330	139	0	191	42.0%
	⑤ 負担金、補助及び交付金		補助金（補助費）	1,000	1,000	0	0	100.0%
補正 区分	6月補正	○	12月補正	○	⑥（①～⑤の計） →		2,355	決算に関する説明書
	9月補正		3月補正		⑦その他の節の決算額 * 該当なし"0"を挿入 →		0	該当/頁 269・271
	臨時会 補正				⑧（⑥+⑦）事業決算合計額 →		2,355	該当/頁 273・275
100万円以上の不用額が生じた理由（該当のみ）								
歳入に関する 項目	決算額 （⑧）		特定財源内訳				一般財源	
			国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他		
令和7年度	2,355		0	0	0	0	2,355	
特定財源 内訳	財源区分		補助金・負担金・交付金等の名称					
	国庫支出金							
	県支出金							
	負担金等その他							
事業内容及び めざした目的 （具体的に）	令和7年3月に策定した「三次市立小中学校のあり方に関する基本方針」に基づき、少子化や子どもの多様化が進行する中にあっても、すべての児童生徒にとってよりよい魅力ある教育環境の整備を進めている。広大な市域を持つ本市において、住む場所にとられない学びの環境づくりをめざす。							
事業実績 （詳細説明） 事業一覧表／状況写真／図面等	○需用費（消耗品費） ・八幡小学校、君田中学校閉校式に要する消耗品 320,494円 ○委託料（業務委託料（物件費）） ・八幡小学校物品等運搬業務 678,579円 ○使用料及び賃借料（自動車借上料） ・交流事業に係る自動車借上 216,580円 ○備品購入費（その他備品購入費） ・吉舎小学校児童会旗 138,600円 ○負担金、補助及び交付金（補助金（補助費）） ・八幡小学校閉校記念事業補助金 500,000円 ・君田中学校閉校記念事業補助金 500,000円							
別添資料等								
無								
（事業一覧等）								
成果/評価 * 事業を執行了ことにより、どのような成果や効果をもたらしたのか	再配置計画のスケジュールに沿って、八幡小学校及び君田中学校を再配置し、令和8年度からの新たな学びの環境を整えることができました。また、学びの多様化学校については、文部科学省へ指定申請書を提出しました。今後も、引き続き基本方針を踏まえて、それぞれの校区、地域での課題や思いを受け止め、協議を重ねながら、すべての児童生徒の教育環境の充実に向けて取り組みます。							

款	項	目	担当部局・課名					
10	5	1	教育部・社会教育課					
事業名			地域学校協働活動推進事業					
事業区分			継続事業					
事業区分			政策3 子どもの未来応援					
事業 (経費) 内の主 な費目	節名称		細節名称	予算現額	決算額	繰越額	不用額	執行率%
	① 報 償 費		委員等謝礼	742	381	0	361	51.0%
	② 報 償 費		講師謝礼	225	225	0	0	100.0%
	③							
	④							
	⑤							
補正 区分	6月補正	12月補正	⑥ (①~⑤)の計		606		決算に関する説明書	
	9月補正	3月補正	⑦その他の節の決算額 * 該当なし"0"を挿入		0		該当/頁	274
	臨時会 補正		⑧ (⑥+⑦) 事業決算合計額		606		該当/頁	275
100万円以上の不用額が生じた理由 (該当のみ)								
歳入に関する 項目	決算額 (⑧)	特定財源内訳				一般財源		
		国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他			
令和7年度	606	0	359	0	0	247		
特定財源 内訳	財源区分	補助金・負担金・交付金等の名称						
	国庫支出金							
	県支出金	学校・家庭・地域連携協力推進事業費補助金						
	負担金等その他							
事業内容及び めざした目的 (具体的に)	地域と学校が連携・協働し、地域全体で子どもの学びの成長を支えるとともに、地域の将来を担う人材の育成を図るため、学校と地域をつなぐ役割として、地域学校協働活動推進員を配置し取組の推進を図る。							
事業実績 (詳細説明) 事業一覧表/状 況写真/図面等	○報償費 (委員等謝礼) ・地域学校協働活動推進員13名 380,172円 (三次地区、十日市地区、甲奴地区、君田地区、布野地区、作木地区、吉舎地区、三良坂地区、三和地区、塩町地区、八次地区、川地地区、全域)							
	○報償費 (講師謝礼) ・研修会講師謝礼 (2回) 224,200円							
別添資料等								
								
無								
(事業一覧等)								
成果/評価 * 事業を執行了 ことにより、どのよ うな成果や効果をも たらしたのか	地域学校協働活動推進員を配置することで、学校との連絡調整、情報の共有、会議への参加や地域住民への呼びかけなど、地域と学校が円滑に連携・協働できるよう取組を進めています。 令和7年度は研修会等を開催することで推進員同士のつながりづくりにも努めており、引き続き、地域と学校が連携した取組を推進していきます。							

款	項	目						
10	6	3	担当部局・課名	教育部・学校教育課				
事業名			三次学校給食センター給食配送業務					
事業区分			継続事業					
			政策3 子どもの未来応援					
事業 (経費) 内の主 な費目	節名称		細節名称	予算現額	決算額	繰越額	不用額	執行率%
	① 委 託 料		業務委託料（物件費）	47,240	47,240	0	0	100.0%
	②							
	③							
	④							
	⑤							
補正 区分	6月補正	12月補正	⑥（①～⑤の計） ➡		47,240	決算に関する説明書		
	9月補正	3月補正	⑦その他の節の決算額 * 該当なし"0"を挿入 ➡		0	該当／頁	292	
	臨時会 補正		⑧（⑥+⑦）事業決算合計額 ➡		47,240	該当／頁	293	
100万円以上の不用額が生じた理由（該当のみ）								
歳入に関する 項目	決算額 （⑧）		特定財源内訳				一般財源	
			国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他		
令和7年度	47,240		0	0	0	0	47,240	
特定財源 内訳	財源区分		補助金・負担金・交付金等の名称					
	国庫支出金							
	県支出金							
	負担金等その他							
事業内容及び めざした目的 （具体的に）			三次学校給食センターで調理した給食を、衛生的に管理し、安全かつ決められた時間内に給食受配校へ配送する。					
事業実績 （詳細説明） 事業一覧表／状 況写真／図面等			○委託料（業務委託料（物件費）） 三次学校給食センター給食配送業務 47,239,500円 令和7年4月からは君田小学校と君田中学校への配送を開始し、小学校14校、中学校7校の計21校への給食の配送を実施しました。  配送状況 配送前室での作業状況					
別添資料等								
無								
(事業一覧等)								
成果/評価 * 事業を執行した ことにより、どのよ うな成果や効果をも たらしたのか			学校給食の配送を専門業者に委託することで、学校給食を衛生的な管理の下で安全かつ決められた時間内に給食受配校へ配送することができました。					

款	項	目						
10	6	3	担当部局・課名	教育部・学校教育課				
事業名			学校給食食育推進事業					
事業区分			継続事業					
			政策 3 子どもの未来応援					
事業 (経費) 内の主 な費目	節名称		細節名称	予算現額	決算額	繰越額	不用額	執行率%
	① 負担金、補助及び交付金		補助金（補助費）	1,500	1,498	0	2	100.0%
	②							
	③							
	④							
	⑤							
補正 区分	6月補正	12月補正	⑥（①～⑤の計） →		1,498	決算に関する説明書		
	9月補正	3月補正	⑦その他の節の決算額 * 該当なし"0"を挿入 →		0	該当/頁	292	
	臨時会 補正		⑧（⑥+⑦）事業決算合計額 →		1,498	該当/頁	293	
100万円以上の不用額が生じた理由（該当のみ）								
歳入に関する 項目	決算額 （⑧）		特定財源内訳				一般財源	
			国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他		
令和7年度	1,498		0	0	0	0	1,498	
特定財源 内訳	財源区分		補助金・負担金・交付金等の名称					
	国庫支出金							
	県支出金							
	負担金等その他							
事業内容及び めざした目的 （具体的に）			市内の小・中学校において、三次を代表する食材（ピオーネ等の三次ブランドの食材や振興作物）を活用したメニューの給食を実施した場合において、その食材費に係る費用を補助金として交付する。 市内の児童・生徒が三次を代表する食材を給食で喫食することにより、児童・生徒への三次ブランド（三次の地場産物）の浸透を図るとともに郷土愛の醸成を図ることを目的とする。					
事業実績 （詳細説明） 事業一覧表／状況写真／図面等	○負担金、補助及び交付金（補助金（補助費）） 三次市学校給食地産地消推進事業補助金 1,497,509円 ・三次産ピオーネ 9月給食実施（補助金額248,184円） ・三次産梨 9月給食実施（補助金額138,450円） ・三次産山の芋コロッケ 11月給食実施（補助金額291,069円） ・三次産豚肉（お米ポーク） 12月給食実施（補助金額706,406円） ・三次産豚肉（お米ポーク） 1月給食実施（補助金額113,400円）							
	 お米（おーまい）ポーク							
	 山の芋コロッケ							
別添資料等								
無								
（事業一覧等）								
成果/評価 * 事業を執行したことにより、どのような成果や効果をもたらしたのか			事業の成果を図るため、アンケート（実施時期：令和8年1月、対象：市内全校の小学校3学年・6学年、中学校1学年）を実施しました。アンケートの結果で約9割の児童生徒が「三次ブランドの食材を給食や家でまた食べたい」と回答し、約8割の児童生徒が「これを機に、三次産の食材をもっと大切にしたいと思った」と回答しました。給食で三次を代表する食材を活用することで児童生徒への三次ブランド（三次の地場産物）の浸透や郷土愛の醸成につなげることができました。					

款	項	目						
10	5	4	担当部局・課名	教育部・社会教育課				
事業名			文化財副読本作成事業					
事業区分			新規事業					
			政策 4 豊かな心と生きがい					
事業 (経費) 内の主 な費目	節名称		細節名称	予算現額	決算額	繰越額	不用額	執行率%
	① 報 酬		非常勤職員報酬	117	0	0	117	0.0%
	②							
	③							
	④							
	⑤							
補正 区分	6月補正	12月補正	⑥ (①～⑤の計) ➡			0	決算に関する説明書	
	9月補正	3月補正	⑦その他の節の決算額 * 該当なし"0"を挿入 ➡			0	該当/頁	-
	臨時会 補正		⑧ (⑥+⑦) 事業決算合計額 ➡			0	該当/頁	-
100万円以上の不用額が生じた理由 (該当のみ)								
歳入に関する 項目	決算額 (⑧)	特定財源内訳				一般財源		
		国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他			
令和7年度	0	0	0	0	0	0		
特定財源 内訳	財源区分	補助金・負担金・交付金等の名称						
	国庫支出金							
	県支出金							
	負担金等その他							
事業内容及び めざした目的 (具体的に)		児童生徒が、本市の有する文化財等の地域資源について学ぶことのできる小中学校の学習教材としての三次市独自の副読本を作成することで、文化財等についての理解を深めるとともに、本市への愛着を図る。						
事業実績 (詳細説明) 事業一覧表/状況写真/図面等		効果的な教材作成を行うため、中学校社会科部会の教員との意見交換を行い、ニーズの把握等を行った。意見交換を行う中で、デジタルコンテンツに対するニーズが多くあり、広島県の事業である「TheMeet(広島オープンアクセラレーター)」事業を活用して取り組むこととした。 本市の課題に対して、提案のあった企業の中から、株式会社ホーンの提案を採択し、取り組むこととした。 ※広島県の事業を活用したため、予算執行はなかった。 提案内容:文化財や歴史など地域の特徴的なスポットを学ぶことができるデジタルクエストの作成 実施方法:モデル地区による実証を行う。(三次中学校区で実施)						
別添資料等 無 (事業一覧等)								
成果/評価 * 事業を執行したことにより、どのような成果や効果をもたらしたのか		本市の有する文化財や歴史などの資源を学ぶツールとして、デジタル技術を活用した新たな取組に繋げることができました。 令和8年度はモデル地区で実証することとし、効果を検証するとともに、継続した取組を目指します。						

款	項	目							
10	5	4	担当部局・課名		教育部・社会教育課				
事業名			重要文化財等保存修理事業						
事業区分			継続事業（拡充）		政策 4 豊かな心と生きがい				
事業 (経費) 内の主 な費目	節名称		細節名称		予算現額	決算額	繰越額	不用額	執行率%
	① 負担金、補助及び交付金		補助金（補助費）		8,269	4,587	3,556	126	55.0%
	②								
	③								
	④								
	⑤								
補正 区分	6月補正	12月補正	⑥（①～⑤の計） →				4,587	決算に関する説明書	
	9月補正	3月補正 ○	⑦その他の節の決算額 * 該当なし"0"を挿入 →				0	該当／頁	280
	臨時会 補正		⑧（⑥+⑦）事業決算合計額 →				4,587	該当／頁	281
100万円以上の不用額が生じた理由（該当のみ）									
歳入に関する 項目	決算額 （⑧）		特定財源内訳				一般財源		
			国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他			
令和7年度	4,587		0	0	0	0	4,587		
特定財源 内訳	財源区分		補助金・負担金・交付金等の名称						
	国庫支出金								
	県支出金								
	負担金等その他								
事業内容及び めざした目的 （具体的に）			市内の重要文化財等の保存と活用を図るため、国・県の指定文化財等に係る補助に加えて、所有者に対して補助を行う。						
事業実績 （詳細説明） 事業一覧表／状 況写真／図面等	○負担金、補助及び交付金（補助金（補助費）） 4,587,000円 ・重要文化財 奥家住宅保存修理事業（吉舎町） 事業費 84,000,000円 （うち、市補助金（5%） 4,200,000円） 国庫補助（85%） 71,400,000円 県費補助（5%） 4,200,000円 所有者負担（5%） 4,200,000円								
	・広島県天然記念物 迦具神社の大イチョウ保存事業（作木町） 事業費 1,548,800円 （うち、市補助金（25%） 387,000円） 県費補助（50%） 774,000円 所有者負担（25%） 387,800円								
別添資料等	・広島県史跡 三次社倉保存修理事業（三次町）※R8へ繰越 事業費 14,223,000円 （うち、市補助金（25%） 3,556,000円） 県費補助（50%） 7,111,000円 所有者負担（25%） 3,556,000円								
	無 （事業一覧等）								
成果/評価 * 事業を執行した ことにより、どのよ うな成果や効果をも たらしたのか	重要文化財奥家住宅は、保存修理工事によって建物の構造と残存する棟札・古文書等の資料により、建築年代（主 屋：天明8（1788）年、土蔵：文化9（1812）年）が明確な全国的にも貴重な民家であることが改めて判明しまし た。令和7年度の事業によって保存修理工事の大半が完了しました。 広島県天然記念物迦具神社の大イチョウは、剪定を行ったことにより全体のバランスが整い、加えて、ワイヤーを設置したこと により木が補強されました。 これらにより、重要文化財等を適切に保存し、次代への継承につながりました。								



重要文化財 奥家住宅



県天然記念物 迦具神社の大イチョウ

款	項	目						
10	5	4	担当部局・課名	教育部・社会教育課				
事業名			史跡寺町廃寺跡整備事業					
事業区分			継続事業（拡充） 政策 4 豊かな心と生きがい					
事業 (経費) 内の主 な費目	節名称		細節名称	予算現額	決算額	繰越額	不用額	執行率%
	① 報 償 費		委員等謝礼	371	346	0	25	93.0%
	② 旅 費		費用弁償	97	85	0	12	88.0%
	③ 旅 費		普通旅費	57	50	0	7	88.0%
	④ 委 託 料		調査測量設計監理等委託料	6,693	6,693	0	0	100.0%
	⑤							
補正 区分	6月補正	12月補正	⑥（①～⑤の計） →		7,174	決算に関する説明書		
	9月補正	3月補正 ○	⑦その他の節の決算額 * 該当なし"0"を挿入 →		0	該当／頁	278	
	臨時会 補正		⑧（⑥+⑦）事業決算合計額 →		7,174	該当／頁	281	
100万円以上の不用額が生じた理由（該当のみ）								
歳入に関する 項目	決算額 （⑧）	特定財源内訳				一般財源		
		国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他			
令和7年度	7,174	3,586	0	0	0	3,588		
特定財源 内訳	財源区分	補助金・負担金・交付金等の名称						
	国庫支出金	歴史活き活き！史跡等総合活用整備事業補助金						
	県支出金							
	負担金等その他							
事業内容及び めざした目的 （具体的に）		三次市向江田町に所在する国史跡の寺町廃寺跡について、適切な保存及び市民から愛される文化財を目指して、史跡のもつ歴史的・文化的魅力が体験できる整備を行い、市民の歴史に対する理解を深め、郷土愛の醸成に努める。						
事業実績 （詳細説明） 事業一覧表／状 況写真／図面等	○報償費（委員等謝礼） ・史跡寺町廃寺跡整備検討委員会委員謝礼（年3回開催） 345,800円							
	○旅費（費用弁償） ・史跡寺町廃寺跡整備検討委員等の費用弁償 84,600円							
別添資料等 無 （事業一覧等）	○旅費（普通旅費） ・文化庁協議等に係る普通旅費 49,380円							
	○委託料（調査測量設計監理等委託料） ・整備基本設計策定業務 6,692,400円							
成果/評価 * 事業を執行了 ことにより、どの ような成果や効果 をもたらしたのか								
								
		三次市史跡寺町廃寺跡整備検討委員会						
		史跡整備イメージ						
成果/評価 * 事業を執行了 ことにより、どの ような成果や効果 をもたらしたのか		史跡寺町廃寺跡について、適切な保存と有効的な活用を目的とした整備事業です。 令和7年度は、史跡整備に向けた整備基本設計書を策定しました。 策定にあたっては、検討委員会や地元説明会を実施しながら適切な基本設計書の策定に努めました。 現地での整備とともに、今後は A R 等の先端技術の活用も考慮しながら、幅広い世代の興味・関心を集める整備手法を検討します。						

款	項	目	担当部局・課名		教育部・社会教育課				
10	5	4							
事業名			宗祐池東第4号古墳 埋葬施設移築復元事業						
事業区分			新規事業		政策 4 豊かな心と生きがい				
事業 (経費) 内の主 な費目	節名称		細節名称		予算現額	決算額	繰越額	不用額	執行率%
	① 委託料		業務委託料 (物件費)		500	331	0	169	66.0%
	② 工事請負費		工事請負費		1,991	1,980	0	11	99.0%
	③								
	④								
	⑤								
補正 区分	6月補正	12月補正	⑥ (①~⑤)の計			2,311	決算に関する説明書		
	9月補正	3月補正	⑦その他の節の決算額 * 該当なし "0" を挿入			0	該当/頁	278	
	臨時会 補正		⑧ (⑥+⑦) 事業決算合計額			2,311	該当/頁	281	
100万円以上の不用額が生じた理由 (該当のみ)									
歳入に関する 項目	決算額 (⑧)	特定財源内訳				一般財源			
		国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他				
令和7年度	2,311	0	0	0	0	2,311			
特定財源 内訳	財源区分	補助金・負担金・交付金等の名称							
	国庫支出金								
	県支出金								
	負担金等その他								
事業内容及び めざした目的 (具体的に)			市道十日市194号線敷設工事に伴い、記録保存を目的とした発掘調査 (R6年度) を実施した宗祐池東第4号古墳について、調査成果の公開と活用のため、埋葬施設 (竪穴式石槨 1 基) の移築復元を行った。						
事業実績 (詳細説明) 事業一覧表/状 況写真/図面等	○委託料 (業務委託料 (物件費)) 宗祐池東第4号古墳の説明看板設置業務委託料 331,100円 ○工事請負費 (工事請負費) 埋葬施設の移築復元工事 1,980,000円 移築対象: 宗祐池東第4号古墳の埋葬施設 (竪穴式石槨1基) 規 模: 長さ約3.6m、幅約2m 移 築 先: みよし風土記の丘園内								
	別添資料等 無 (事業一覧等)		 移築した竪穴式石槨  石槨の傍に設置した説明看板						
成果/評価 * 事業を執行した ことにより、どのよ うな成果や効果をも たらしたのか	発掘調査の結果、市内でも最古級の可能性があることが判明した宗祐池東第4号古墳の記録保存とともに、古墳の特色を示す竪穴式石槨 1 基の移築復元を行うことで、本市の貴重な考古資料の保存を行うことができました。 また、移築先のみよし風土記の丘において、現地説明会を開催し、活用を図りました。								

款	項	目	担当部局・課名		教育部・社会教育課、甲奴支所			
10	5	5						
事業名			甲奴平和学習センター展示リニューアルオープンセレモニー					
事業区分			新規事業		政策 4 豊かな心と生きがい			
事業 (経費) 内の主 な費目	節名称		細節名称	予算現額	決算額	繰越額	不用額	執行率%
	① 報 償 費		その他報償費	200	0	200	0	0.0%
	② 需 用 費		消耗品費	20	0	20	0	0.0%
	③ 役 務 費		通信運搬費	17	0	17	0	0.0%
	④ 委 託 料		業務委託料 (物件費)	1,475	1,303	172	0	88.0%
	⑤							
補正 区分	6月補正	12月補正	⑥ (①～⑤)の計		1,303	決算に関する説明書		
	9月補正	3月補正	⑦その他の節の決算額 * 該当なし "0" を挿入		0	該当/頁	284	
	臨時会 補正		⑧ (⑥+⑦) 事業決算合計額		1,303	該当/頁	285	
100万円以上の不用額が生じた理由 (該当のみ)								
歳入に関する 項目	決算額 (⑧)	特定財源内訳				一般財源		
		国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他			
令和7年度	1,303	0	0	0	0	1,303		
特定財源 内訳	財源区分	補助金・負担金・交付金等の名称						
	国庫支出金							
	県支出金							
	負担金等その他							
事業内容及び めざした目的 (具体的に)			令和6年度に展示内容を更新する改修工事を実施。工事の完了を受けて、カーター氏の新たな魅力や功績を市内外に発信するため、リニューアルオープンに伴いパンフレットの作成及びセレモニーを開催するもの。					
事業実績 (詳細説明) 事業一覧表/状 況写真/図面等	○委託料 (業務委託料 (物件費)) ・パンフレット作成業務委託料 1,303,500円 日本語版 2,000部 英語版 500部 オープニングセレモニーにかかる経費は令和8年度に繰り越し							
	 リニューアルに伴い作成したパンフレット							
別添資料等			無					
(事業一覧等)								
成果/評価 * 事業を執行したことにより、どのような成果や効果をもたらしたのか			平和学習センターのリニューアルの周知を図るため、パンフレットを作成しました。 令和7年5月にオープンする予定でしたが、ロビーやピースベルホールの内壁タイルの剥離が見つかり、修繕が必要となりました。工事が完了するまで危険であり、安全確保のためピースベルホールや平和学習センターの使用を中止し、オープンは工事完了後の令和8年度に延期しました。					

款	項	目	担当部局・課名		教育部・社会教育課			
10	5	5	事業名 子ども文化芸術ふれあい事業					
事業区分		継続事業		政策 4 豊かな心と生きがい				
事業 (経費) 内の主 な費目	節名称		細節名称	予算現額	決算額	繰越額	不用額	執行率%
	① 負担金、補助及び交付金		補助金（補助費）	2,000	1,639	0	361	82.0%
	②							
	③							
	④							
	⑤							
補正 区分	6月補正	12月補正	⑥（①～⑤の計） →		1,639	決算に関する説明書		
	9月補正	3月補正 ○	⑦その他の節の決算額 * 該当なし"0"を挿入 →		0	該当/頁	284	
	臨時会 補正		⑧（⑥+⑦）事業決算合計額 →		1,639	該当/頁	285	
100万円以上の不用額が生じた理由（該当のみ）								
歳入に関する 項目	決算額 （⑧）	特定財源内訳				一般財源		
		国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他			
令和7年度	1,639	0	0	0	1,638	1		
特定財源 内訳	財源区分	補助金・負担金・交付金等の名称						
	国庫支出金							
	県支出金							
	負担金等その他	基金利子						
事業内容及び めざした目的 （具体的に）		三次市の将来を担う子どもたちが、芸術鑑賞により本格的な芸術を体感することで、芸術への関心を深めるとともに豊かな感性を育む教育の一環として実施する。						
事業実績 （詳細説明） 事業一覧表／状 況写真／図面等	○負担金、補助及び交付金（補助金（補助費）） 三次市小・中学校芸術鑑賞事業実行委員会に対する補助金 1,638,324円 ・美術鑑賞事業 1,456,924円 鑑賞児童生徒数：970人 実施校：小学校15校、中学校2校 実施場所：奥田元宋・小由女美術館 ほか ・学校における芸術鑑賞事業 181,400円 鑑賞児童生徒数：200人 実施校：2校3公演 実施場所：川地中学校、神杉小学校							
	別添資料等 無 （事業一覧等）		 学校で開催されたコンサート					 美術鑑賞事業の様子
成果/評価 * 事業を執行した ことにより、どのよ うな成果や効果をも たらしたのか	美術鑑賞事業については、令和6年度を上回る実績があり、多くの児童生徒に貴重な芸術鑑賞の機会を提供することができました。 また、これまでの美術鑑賞事業に加え、学校に講師などを招聘し開催する「学校における芸術鑑賞事業」を新設し、事業を拡充したことで、児童生徒が文化芸術に触れる機会の創出を図ることができました。							

款	項	目	担当部局・課名		教育部・社会教育課				
10	5	5							
事業名			リンクアップコンサート（子ども文化芸術ふれあい事業）						
事業区分			新規事業		政策 4 豊かな心と生きがい				
事業 (経費) 内の主 な費目	節名称		細節名称		予算現額	決算額	繰越額	不用額	執行率%
	① 負担金、補助及び交付金		補助金（補助費）		5,000	4,623	0	377	92.0%
	②								
	③								
	④								
	⑤								
補正 区分	6月補正	12月補正	⑥（①～⑤の計） ➡			4,623	決算に関する説明書		
	9月補正	3月補正	⑦その他の節の決算額 * 該当なし "0" を挿入 ➡			0	該当／頁	284	
	臨時会 補正		⑧（⑥+⑦）事業決算合計額 ➡			4,623	該当／頁	285	
100万円以上の不用額が生じた理由（該当のみ）									
歳入に関する 項目	決算額 （⑧）		特定財源内訳				一般財源		
			国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他			
令和7年度	4,623		0	0	0	4,623	0		
特定財源 内訳	財源区分		補助金・負担金・交付金等の名称						
	国庫支出金								
	県支出金								
	負担金等その他		基金利子						
事業内容及び めざした目的 （具体的に）			音楽への感性を育て豊かな情操を養うことを目的に、従来の鑑賞型から、カーネギーホールで開発された小学生向けの音楽教育プログラム「リンクアップコンサート」に発展させ、体験型コンサートになることで、児童が心をときめかせ、より主体的に参加することを目指す。						
事業実績 （詳細説明） 事業一覧表／状況写真／図面等	○負担金、補助及び交付金（補助金（補助費）） 三次市オーケストラ音楽鑑賞教室事業実行委員会への補助金 4,623,013円 （事業内容） みよしリンクアップコンサート 出演：広島交響楽団 ほか （一部参加児童と歌、リコーダー合奏のプログラム実施） 会場：三次市民ホールきり 参加児童数： 795名（市内小学校5・6年生） 一般鑑賞者数（保護者）：52名								
	 広島交響楽団と共演する児童								
別添資料等									
無									
(事業一覧等)									
成果/評価 * 事業を執行したことにより、どのような成果や効果をもたらしたのか			鑑賞だけでなく、小学校の音楽科授業と連動させ、演奏会当日に児童が歌、リコーダー演奏をオーケストラと共演するコンサートを実施することで、プロの演奏の迫力を感じるとともに、児童自身が参加、体験することで「音楽の力で会場にいたみんなと仲間になれた」「音楽を通して、もっと仲間を作りたい」など、音楽によるつながりの意識と、表現する意欲の醸成につながりました。						

款	項	目	担当部局・課名		教育部・社会教育課				
10	5	5	事業名 奥田元宋・小由女美術館開館20周年記念展実施事業						
事業区分		新規事業		政策 4 豊かな心と生きがい					
事業 (経費) 内の主 な費目	節名称		細節名称		予算現額	決算額	繰越額	不用額	執行率%
	① 負担金、補助及び交付金		補助金（補助費）		5,000	5,000	0	0	100.0%
	②								
	③								
	④								
	⑤								
補正 区分	6月補正	12月補正	⑥（①～⑤の計） → 5,000				決算に関する説明書		
	9月補正	3月補正	⑦その他の節の決算額 * 該当なし"0"を挿入 → 0				該当／頁	286	
	臨時会 補正		⑧（⑥+⑦）事業決算合計額 → 5,000				該当／頁	287	
100万円以上の不用額が生じた理由（該当のみ）									
歳入に関する 項目	決算額 （⑧）		特定財源内訳				一般財源		
			国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他			
令和7年度	5,000		0	0	0	0	5,000		
特定財源 内訳	財源区分		補助金・負担金・交付金等の名称						
	国庫支出金								
	県支出金								
	負担金等その他								
事業内容及び めざした目的 （具体的に）			令和8年度に奥田元宋・小由女美術館が開館20周年を迎えるにあたり開催される「開館20周年記念 奥田元宋展」及び関連事業の実施に向けた準備を行う。						
事業実績 （詳細説明） 事業一覧表／状 況写真／図面等	○負担金、補助及び交付金（補助金（補助費）） 美術館企画展示事業補助金 5,000,000円								
	【事業内容】 ・作品借用・展示協議 ・ポスター・チラシの作成 ポスター1,500枚、チラシ30,000枚 作成 ・借用物品の荷輸送 玉堂美術館、ひろしま美術館および広島市現代美術館、個人等から借用 ・記念セレモニー（令和8年4月22日）の企画・準備								
別添資料等			  「開館20周年記念 奥田元宋展」チラシ						
無 （事業一覧等）									
成果/評価 * 事業を執行了 ことにより、どのよ うな成果や効果をも たらしたのか			令和8年度予定の20周年記念企画展およびセレモニーの開催に向けて、各関係先との調整、展示品の準備等を進めることができました。						

款	項	目	担当部局・課名		教育部・社会教育課				
10	5	5	事業名 真田一幸スポーツ・文化子ども育成事業						
事業区分			継続事業		政策 4 豊かな心と生きがい				
事業 (経費) 内の主 な費目	節名称		細節名称		予算現額	決算額	繰越額	不用額	執行率%
	① 備品購入費		その他備品購入費		1,500	1,362	0	138	91.0%
	② 負担金、補助及び交付金		補助金（補助費）		2,059	2,047	0	12	99.0%
	③								
	④								
	⑤								
補正 区分	6月補正	12月補正	⑥（①～⑤の計） →			3,409	決算に関する説明書		
	9月補正	3月補正	○	⑦その他の節の決算額 * 該当なし"0"を挿入 →			0	該当/頁	284
	臨時会 補正		⑧（⑥+⑦）事業決算合計額 →			3,409	該当/頁	285	
100万円以上の不用額が生じた理由（該当のみ）									
歳入に関する 項目	決算額 （⑧）		特定財源内訳				一般財源		
			国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他			
令和7年度	3,409		0	0	0	3,408	1		
特定財源 内訳	財源区分		補助金・負担金・交付金等の名称						
	国庫支出金								
	県支出金								
	負担金等その他		真田一幸スポーツ・文化子ども育成基金繰入金						
事業内容及び めざした目的 （具体的に）	市内の概ね18歳以下の子どもを対象としたスポーツ・文化の振興及び育成を図るため、スポーツ・文化活動に自主的に取り組む団体に対して、三次市真田一幸スポーツ・文化子ども育成事業補助金の交付及びスポーツ・文化活動で使用する用具を購入する。								
事業実績 （詳細説明） 事業一覧表/状況写真/図面等	○負担金、補助及び交付金（補助金（補助費）） ・真田一幸スポーツ・文化子ども育成事業補助金 2,047,000円 - 団体運営 40件：1,897,000円 - 大会等開催 3件：150,000円 ○備品購入費（その他備品購入費） ・真田一幸スポーツ・文化子ども育成事業用具購入 1,361,440円 - 三次市営球場：ネットフェンスキャスター付等 - 三次市民ホールきり：コンサートバッドラム、グロックンシュピール等								
	 購入した備品（ネットフェンス・バッドラム・グロックン）								
別添資料等	無								
（事業一覧等）									
成果/評価 * 事業を執行したことにより、どのような成果や効果をもたらしたのか	スポーツ・文化振興活動に取り組む団体や大会等に補助金を交付することで活動を支援し、子どもを対象としたスポーツ・文化の振興及び育成を図ることができました。 また、施設で使用する用具を購入することで、施設の充実につながりました。								